

# 地 域 再 生 計 画

## 1 地域再生計画の名称

東備地域の資源を活用した都市と農村の交流促進計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県、備前市、赤磐市、岡山県和気郡和気町

## 3 地域再生計画の区域

備前市及び赤磐市並びに岡山県和気郡和気町の全域

## 4 地域再生計画の目標

### (4-1) 地域の概要

本地域は、岡山県南東部に位置する赤磐市、和気町、備前市の2市1町の地域であり、『東備』地域として広域行政圏を形成し、これまで人や物の交流があり、各種の施策を連携して行ってきた。

本地域の西側に位置する赤磐市は、平成17年3月に赤磐郡内の山陽町、赤坂町、熊山町、及び吉井町が合併して誕生した人口約4.5万人、面積約210km<sup>2</sup>の市である。中央から南部の平野には市街地と田園地帯が広がり、山陽地域では大型店の進出もあり、岡山市のベッドタウンとして都市的な集積もみられる。一方、北部から東部にかけては中山間地となっていて、農林業の盛んな緑の豊かな地域である。また、畿内天皇墓に迫る規模の古墳といわれる両宮山古墳のほか、山陽ふれあい公園、赤坂ファミリー公園、熊山英国庭園、ドイツの森、岡山ワイナリーなど市民の憩いの場や観光・交流資源を多彩に保有している。

本地域の中央に位置する和気町は、平成18年3月に佐伯町と合併した人口約1.6万人、面積約145km<sup>2</sup>の町である。南北に県三大河川の吉井川が貫流し、その支流沿いの平野部には農地が広がり、水稻や野菜、果樹などの農作物の生産ほか肉用牛と養鶏の大規模経営も行われている。また、吉井川に沿うように国道374号、片鉄ロマン街道(サイクリング・ウォーキングロード)が縦断し、沿線に市街地が形成されている。東西に「和気インター」を擁する山陽自動車道と、「和気駅」を擁するJR山陽本線が走るなど公共交通網の拠点となっている。また、三保高原スポーツ&リゾート、和気鶴飼谷温泉、藤公園、岡山県自然保護センターなどの交流資源にも恵まれている。

本地域の東側に位置する備前市は、平成17年3月に吉永町、日生町と合併した人口約4.0万人、面積約260km<sup>2</sup>の市である。基幹産業は第2次産業の耐火物製造業であり、日本六古窯のひとつに数えられる備前焼の産地としても有名であり、市内には備前焼の窯にある煉瓦造りの四角い煙突が数多く見受けられる。また、世界最古の庶民学校である特別史跡旧閑谷学校や岡山藩主池田家の墓所である和意谷池田家墓所など歴史資源が豊かであり、さらに瀬戸内海国立公園などの観光資源にも恵まれている。瀬戸内海に面する日生地区では漁業が盛んであり、特に牡蠣の養殖漁業が行われ、近年この牡蠣を使ったお好み焼き(カキオコ)で町おこしを図っている。

#### (4-2) 地域の課題

本地域の北部は典型的な中山間地域であり、地理的条件の制約から集落内道路及び幹線道路への接続道路整備が遅れている。このことは、中山間地域唯一の移動手段である自動車交通に大きな影響を与え、中山間地域における農林業の発展、人的交流、情報流通などに支障を来しており、道路網整備によるアクセス改善が急務となっている。

また、都市部との生活利便性の格差等を背景として、人口の減少と高齢化が急速に進行しており、地域全体としての農林業生産力の低下、耕作放棄地や荒廃森林が増加し中山間地域がもつ国土保全や水源かん養などの多面的機能の維持が危ぶまれている。また、集落人口減少によりコミュニティ維持や集落維持の危機さえ懸念されており、農業・農村の振興が喫緊の課題である。

南部は概ね平野部で桃・ぶどう等の果樹栽培が盛んな地域である。また、高速道路や主要県道・鉄道が集中する交通要衝地点となっているが、近年岡山市のベッドタウンとして都市的な集積もみられ、交通量の増加により、朝夕の通勤・通学時には交通渋滞が頻発し、農産物の集出荷にも影響が出ており、物流の効率化が求められている。

また、最近の地産地消運動や食の安全に対する関心の高まりから新鮮な農産物をはじめ地域特産品が求められており、各地域に分散する特産品販売所（直売所）や農業公園等の観光施設の広域的かつ有機的な連携を促進するためにも道路網の構築が必要である。

#### (4-3) 地域の目標

農村地域では、農業生産基盤と地域住民の生活を支える集落基盤が一体となっていることから、引き続き両基盤の一体的な整備を行うとともに、農業・農村がもつ多面的機能の発揮を支える農地や農業用水などの地域資源を、地域ぐるみで適切に維持・保全を行うこととする。

さらに、農村地域の再生を図るため、農林水産物をはじめ農村に存在する資源を有効に活用し、農業サイドによる加工・流通・販売の取組みや、農業と2次産業・3次産業の自立的な連携・融合等による「農業6次産業化」を進め、雇用機会の増大、所得の確保を図ることとする。

一方、都市住民を中心に自然環境や農村の原風景的な景観に対し、「ゆとり」や「やすらぎ」を求める傾向や健康志向、環境意識が強まっており、団塊世代や若年層を中心として、新しいライフスタイルへの関心や期待が高まっている。特に、若者を中心とする就農、援農など農村との積極的な交流を望む者も多く見られ、このようなニーズに対応し、都市と農山漁村がお互いに地域の魅力を分かちあい、「人・もの・情報」の行き来を活発にしていく観点から、都市と農村の双方向で行き交うライフスタイルの実現を進めていく。

このように、本地域の均衡ある発展を図るために、「豊かな自然」、「古い歴史」及び「豊かな農産物（特産物）」など魅力ある地域資源を活用することが不可欠であり、そして都市との交流を促進するため、効率的に連携させる道路網を整備し、個々のアクセスの利便性を改善することが急務である。

このため、本地域における重要な生産・生活基盤となる市道及び広域農道の整備を総合的に推進し、山陽自動車道など高速交通網や病院、商業施設、駅などの生活拠点へのアクセス改善も含め、効率的な道路網を構築し、地域内外への物流体系の整備と人的交流の促進を図ることにより地域資源の有効活用の可能性が高まり、都市部との「人・もの・情報」の交流に基づく地域の発展を図る。

**(目標 1) 農道、道路の整備によるアクセス改善**

和気 I C～旧閑谷学校 (所要時間 18 分→ 8 分)

和気 I C～農業公園ドイツの森 (所要時間 50 分→40 分)

**(目標 2) 交通障害箇所の解消 → 1 箇所 (市道)**

**(目標 3) おかやま次世代フルーツ (栽培面積 3 ha→18ha)**

**(目標 4) 観光人口の増加 (平成 21 年度実績である 69 万人以上)**

**5 目標を達成するための事業**

**(5-1) 全体の概要**

東備地域の経済基盤の強化と生活環境の整備のため、物流の効率化と地域交通の円滑化の対策を行うとともに、基幹産業である農林水産業に関連した産業振興施策を一体的に行うことにより、地域の総合的な発展を目指すものである。

交付金事業としては、広域農道備前東部地区 (熊山・和気・吉永工区と赤坂工区) と市道を併せて整備することにより効率的な道路網を構築し、“もの”の流れ (生産地から集出荷施設及び消費地までの農産物流通の効率化)、“人”の流れ (都市と農村の交流) を活発化するとともに、農村生活環境の改善を図る。

**(5-2) 法第 5 章の特別の措置を適用して行う事業**

**道整備交付金を活用する事業**

対象となる事業は、次のとおり事業開始に係る手続きを行っている。

●市町村道

市道 北釜底線 (昭和 60 年 3 月 19 日 道路認定)

●広域農道

備前東部地区

事業採択を平成 7 年 4 月 1 日に国より受けるとともに、事業計画は平成 7 年 10 月 3 日に確定 (平成 20 年 9 月 11 日に変更)

[施設の種類 (事業区域)、実施主体]

- ・市道 (赤磐市) 赤磐市
- ・広域農道 (赤磐市、和気町、備前市) 岡山県

[事業期間]

- ・市道 (平成 24 年度～平成 27 年度)
- ・広域農道 (平成 23 年度～平成 27 年度)

[整備量]

- ・市道 1.0km
- ・広域農道 8.7km

[事業費]

- ・総事業費 3,100,000 千円 (うち交付金 1,550,000 千円)
- ・市道 220,000 千円 (うち交付金 110,000 千円)
- ・広域農道 2,880,000 千円 (うち交付金 1,440,000 千円)

### (5-3) その他の事業

地域再生法による道整備交付金を活用するほか、「東備地域の資源を活用した都市と農村の交流促進計画」を達成するため、次の事業を総合的・一体的に行う。

(1) 安心して暮らせる快適なまちづくり (備前市、赤磐市、和気町)

社会資本整備総合交付金事業等により、観光施設やレジャー施設等を繋ぐ主要な道路を整備することにより、観光施設の利用を促進し、地域活力の向上を図るとともに、安全・安心な交通を確保することにより、地域生活の向上を図る。また、豪雨時に氾濫する河川のバイパスを整備することにより、市道及び県道に冠水するのを防ぎ住みよい町づくりを行う。

(2) 農業生産基盤と農村生活環境の整備 (岡山県、備前市、赤磐市、和気町)

農村地域では、農業生産と地域住民の生活が同じ空間で営まれていることから、農業生産基盤と地域での生活を支える集落基盤が一体となっている。農山漁村地域整備交付金などを活用し、これら農業生産基盤の整備と農村生活環境の整備を併せて行う。

(3) 農山村のふるさと資源の保全推進 (備前市、赤磐市、和気町)

中山間地域等直接支払制度等を活用し、農業・農村がもつ、多面的機能の発揮を支える農地や農業用水などの地域資源を、農家だけでなく、非農家を含む地域住民等の多様な参画を得て、適切に保全を行う。

(4) 新規就農者等の確保・育成 (岡山県、備前市、赤磐市、和気町)

新規就農者を確保・育成するため、就農環境の整備を進めるとともに、栽培技術の習得や農地確保等、地域における円滑な就農と定着を支援する。また、農協等と連携して、農業体験研修や実務研修など、就農に向けた実践的な研修を地域の実情に応じた形で実施し、就農促進を図る。

(5) 「くだもの王国おかやま」の推進 (岡山県)

これまで岡山県を代表するくだものとして全国的にも評価の高い白桃、マスカット、ピオーネのさらなるブランド化と意欲ある産地のステップアップを支援する。また、おかやま次世代フルーツと位置づける「おかやま夢白桃」、「オーロラブラック」の生産振興により「くだもの王国おかやま」の充実を図る。

(6) 農商工連携と6次産業化の推進 (岡山県)

農林漁業者と中小企業者等が連携し、新商品の開発や販路の拡大を行う、または農林漁業者自らが農林水産物の製品加工により付加価値を高め、流通・販売する取組みを推進し、地域内の所得の増大や雇用の創出等が期待され、地域経済の活性化

が図られる。

## 6 計画期間

平成 23 年度～平成 27 年度

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握し、達成状況の評価と改善すべき事項の検討等を行い、公表する。

(目標 1) 事業完了後、走行時間の実測を行い評価する。(岡山県、備前市、赤磐市)

(目標 2) 市道 1 路線の事業完了をもって交通障害箇所の解消とする。(赤磐市)

(目標 3) 事業完了後、栽培面積を調査し、評価する。(岡山県)

(目標 4) 事業完了後、事前に設定した観光施設における年間来場者数を集計し、評価する。(備前市、赤磐市、和気町)

## 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし